

FOOTY JAPAN COMPETITIONS

ユース競技 セーフガーディング & ウェルフェア

Version 1.0

Footy Japan Competitions (Footy Japan株式会社) 発行

Footy Japanは、すべての子どもたちが安心して前向きに参加できる、安全で健全な環境づくりに取り組んでいます。

本ガイドラインは、当社が運営するプログラムおよび大会に参加するすべての子どもたちの安全と福祉を守るための基本方針を示しています。

1. 責任について

子どもたちの安全を守ることは、コーチ、保護者、審判、運営スタッフなど、関わるすべての大人の責任です。

すべての参加者には、安全で安心できる環境づくりに協力することが求められます。

2. 求められる行動

すべての大人は、以下を心がけてください：

- 常に子どもたちを尊重して接する
- 前向きで安心できる環境づくりを行う
- 子どもに不安・苦痛・不快感を与える行動を避ける

3. 安全な環境づくり

Footy Japanは、以下のような環境づくりを目指します：

- 適切に管理・監督された活動運営
- 参加者および保護者への分かりやすい情報共有
- 選手が安心して参加し、自分を表現できる環境

4. 適切な距離感(境界線)

大人と子どもの間には、常に適切な距離感を保つ必要があります。

これには以下が含まれます:

- 適切なコミュニケーションを行うこと
 - 個人の空間やプライバシーを尊重すること
 - 子どもが危険な状況に置かれる可能性のある行動を避けること
-

5. 問題や懸念の報告

セーフガーディングに関する不安や問題がある場合は、スタッフまたは大会運営担当者へご相談ください。

内容に応じて、適切に対応し、必要な場合は関係者へ報告・共有を行います。

6. 保護者・保護責任者について

保護者および保護責任者は、活動時間外におけるお子さまの安全と管理について責任を持つものとします。

また、安全で尊重し合える環境づくりへのご協力をお願いいたします。

7. 平等性とインクルージョン

Footy Japanは、国籍・背景・能力に関わらず、すべての参加者が公平かつ尊重されるインクルーシブな環境づくりを大切にしています。

8. 見直しについて

本ガイドラインは、必要に応じて定期的に見直しを行い、適切かつ効果的な内容となるよう改善していきます。